

## 努力賞

ばあばはだいじょうぶ

荒川区立第六日暮里小学校二年

川口 佳音

やなぎ田くにお先生、こんにちは。はじめまして。わたしは、だい六日ぽり小学校二年生の川口かのです。

わたしは、「ばあばはだいじょうぶ」を読んだんだよ。

このお話は、おばあちゃんが、いろいろなことをわすれてしまうお話なんだよ。

このお話に出てくるつばさくんは、おばあちゃんが大すきなんだよ。わたしもおばあちゃんが大好きなので、おばあちゃんがいろいろなことをわすれてしまうと、とてもかなしいなと思うよ。

つばさくんのお母さんが作ったジャムをぜんぶたべちゃったり、おとなりのいえの花をおつてしまったりするんだよ。しかも、おばあちゃんは、じ分がやったことをまったくおぼえていないんだよ。わすれてしまえばよう気だから、しょうがないんだよ。

いつしよにすんでいるつばさくんやかぞくは大へんだと思うし、おばあちゃんがぜんぶわすれてしまうから、さみしいと思うよ。

でもおばあちゃん思うよ。わすれないように、いっぱいメモを書いていたんだよ。それでも、きつとこのメモを書いたこともわすれてしまっているとおもうけど、おばあちゃんがどう思っていたのかメモを読めばわかるので、つばさくんもかぞくもとてもうれしかったんじゃないかな。

おばあちゃんは、じ分のことみんなのことも  
わすれてしまうけど、どんなおばあちゃんになっ  
たとしても、つばさくんのことはずっとすきだと  
思うよ。

わたしのおばあちゃんが、もしわすれてしまっ  
びょう気にかかっても、わたしのことはずっとす  
きでいてほしいな。わたしは、どんなことがあっ  
ても、ずっとおばあちゃんのことはずきでいるよ。